

平成30年2月9日

各 位

食品品質保持技術研究会
会長 林 徹

講演会・情報交換会のご案内

拝啓 向春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、首題の件に関しまして下記次第により開催する運びとなりました。
つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合せの上ご出席くださいますようご案内いたします。

整理の都合上、3月6日(火)迄に出欠の有無及びご出席者名をFAX(03-3469-7814)または郵送・Eメールにてご連絡下さるようお願い申し上げます。

なお、総会にご出席いただけない会員の方は同封の委任状にご署名・ご捺印のうえ、ご返送くださいますようお願いいたします。

敬具

記

- 日時 平成30年3月19日(月) 14時00分～17時～19時
- 場所 主婦会館プラザエフ クラルテ(地下2階)
JR四谷駅 麴町口 徒歩1分
丸の内線・南北線 四ツ谷駅 徒歩2分
〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地
Tel: 03-3265-8111
(当日以外の電話連絡はご遠慮ください。)
- 参加費用 **講演会** 会 員…無料
非会員…5,000円
情報交換会 会 員…2名様まで無料
(3名様以上ご出席のときは、追加1名様につき3,000円ご負担願います。当日会場にて頂戴いたします。)
非会員…5,000円

*受講票は発行しておりません。
受付にてお名刺を頂戴いたしたく、お願いいたします。

4 食品品質保持技術研究会講演会・情報交換会 (14:00～19:00)

◎ 講演会 (14:00～17:00)

○食感表現と官能評価～差別化のための評価方法～ (14:00～15:20)

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門
食品加工流通研究領域食品品質評価制御ユニット
上級研究員 早川文代 氏

食品の分析、特に官能評価において「もちもち」や「かたい」といった感覚を表現する言葉は重要な役割を果たす。しかし、このような言葉を実験や調査で的確に用いるのは思ったよりも難しい。そこで、食品の分析の参照資料とすべく、445語から成る日本語のテクスチャー表現体系を作成し、用語の消費者認知度調査などを行った。本講演では、そのデータを紹介するとともに、「言葉」から見えてくる日本人の食嗜好や食生活などについても触れたい。また、味、香りの表現も加えて行った製品の差別化のための官能評価事例も紹介したい。

○休憩 (15:20～15:40)

○食品をめぐる国際規格化の動向と今後の認証制度の在り方 (15:40～17:00)

国立大学法人 東京海洋大学大学院 食品安全流通管理専攻
教授 湯川 剛一郎 氏

食品をめぐるのは農業生産から加工、流通に到る各段階で国際規格化の動きが見られる。オリンピック、パラリンピックにおける調達基準として、指定された認証を条件とするの方針が示され、輸出を行う組織が対応すればよいと考えられてきた認証制度が、国内流通にも求められるようになってきている。3月上旬に開催されるGFSIにおける最新の動きも交え、規格をめぐる国際的な動き、今後の認証制度の在り方について報告する。

◎ 情報交換会 (17:00～19:00)

以 上

お問合せは
品保研事務局 遠山・織本・小川まで

T E L 03-3469-7138 / 03-3469-7131 F A X 03-3469-7814

FAX 03-3469-7814

宛先 一般財団法人日本食品分析センター内 食品品質保持技術研究会 事務局
〒151-0062 渋谷区元代々木町 52-1 TEL 03-3469-7138 / 03-3469-7131

3/19(月) 講演会・情報交換会 [申込〆切… 3/6(火)]		非会員
ご出席	ご欠席	H
会社名または団体名：		
申込みご担当者名：		
E-mail: (品保研ご担当者以外の方がお申込みされるときご記入ください)		
※ ご出席に○印をされた方は、以下にご記入下さい。		
【講演会1】		
参加人数	参加者名	
名		
【講演会2】		
参加人数	参加者名	
名		
【情報交換会】		
参加人数	参加者名	
名		